

赤こんりポート

松村美沙枝リポーター



岡山小野球グラウンドがリニューアル!

岡山小学校の野球グラウンドの整備が、岡山学区まちづくり協議会の協力のもと、レイクビクターズ所属の小学生や指導者、保護者など総勢約50人の手によって行われました。

小石の撤去など、利用する誰もが安全に使えるように施しました。グラウンドの真ん中には、小高いピッチャーマウンドが完成。みんなの力で手作りしたマウンドに、次の練習を心待ちにする姿が見られました。

赤こんりポート

今井良治リポーター

八幡中の日刊生徒会新聞
「輝け! 八中みんなの学校」が8千号

八幡中学校の日刊生徒会新聞「輝け! 八中みんなの学校」が2月17日、1984年5月創刊以来、8千号を迎えました。

学校の休みの日以外、生徒会執行部により毎日かかさず発行されています。創刊当時は校内が荒れていて「学校を変えるには悪いことも良いこともありのまま伝えよう」と一人の社会科教師が日刊新聞の発行を発案。当初は教師自らが発行していましたが、まもなく生徒会執行部に引き継がれ、B6判片面の手書きスタイルは今も変わりません。

8千号の紙面は、生徒会が全校生徒に公募した八中ゆるキャラが「でっくん」に決まったことなどが満載。執行部の2年生のメンバーは、拡大し色付けした記念紙面を囲み、伝統の継承を誓い合っていました。



赤こんりポート

東恵子リポーター



聖徳太子1400年 舞楽を奉納

「近江の聖徳太子1400年」記念イベントとして2月23日、雅楽の集団・南都楽所を迎え、日牟禮八幡宮で舞楽の奉納がありました。

聖徳太子が建立した寺といえば、奈良県斑鳩町の法隆寺が有名ですが、実は滋賀県が全国一多いそうです。中でも、近江八幡には長光寺や長命寺、願成就寺など所縁の寺がたくさんあります。今年は、聖徳太子が薨去して1400年ということで委員会を立ち上げ、来年にかけて寺院などでさまざまな催しがあるそうです。

夕闇迫る能舞台の澄んだ空気の中、荘厳な舞楽が観る人の心に染み渡りました。

2月26日・3月3日



ガイドと歩く近江商人屋敷と節句人形めぐり

ガイドとともに八幡堀周辺の近江商人屋敷と節句人形めぐり催しが行われ、参加者が近江八幡の町中散策を楽しみました。

商家・旧家に伝わるひな人形などの節句人形やその小道具を、市立資料館や旧伴家住宅など市内約30か所で展示する「町なみに装うひいなほほえみ」に合わせ、近江八幡観光ボランティアガイドが開催。江戸期から昭和期までの貴重なひな人形や昔の近江商人がどのような暮らしをしていたかなどが説明され、参加者は熱心に聴き入っていました。

2月13日・21日

「おじさん」たちの想い熱く
音楽祭の収益の一部を市に寄付

2月13日に市文化会館大ホールで開催された「おじさんたちの音楽祭」。収益の一部である現金12万円が2月21日、市に寄付されました。このコンサートは、60歳代の還暦を過ぎた「おじさん」たちを中心に、音楽を通して夢に向かって活動している姿を見てもらうことで、地域を活性化しようと企画。新型コロナウイルスの感染防止対策をして開催されたコンサートには、市内を中心に活動する5グループが出演し、ロックを中心に多彩な演奏で会場を盛り上げました。市では、この寄付金を音楽振興事業で活用する予定です。大切にに使わせていただきます。

3月12日・13日

3年ぶりに旧市街を渡御
左義長まつりが開催

湖国に春の訪れを告げる左義長まつりが、宮内町の日牟禮八幡宮一帯で営まれました。今年は新型コロナウイルスの影響により、全13基の左義長のうち10基が、今年の干支の「寅」にちなみ華やかに飾りつけ、旧市街を練り歩きました。左義長のダシ飾りの出来栄を競うダシコンクールは、第11区が優勝。2日目には、左義長をぶつけ合う迫力の「けんか」もあり、夜には左義長に火を放ち奉納し、燃え盛る火柱が同宮の馬場を赤く染めました。

祭りの様子がテレビ放映されます。ぜひご覧ください。
毎日放送 ダイドグループ日本の祭り
「近江・左義長まつり〜織田信長も踊り出た天下の奇祭〜」
4月15日(金) 24時20分〜

3月12日

元モーグル日本代表の伊藤みきさんによる
スキー教室を開催

オリンピック3大会連続出場のモーグル元日本代表の伊藤みきさんが指導するスキー教室をグランスノー奥伊吹で開催し、中学1年生から65歳までの14人が参加しました。

近江八幡スキークラブによる指導の後に、コブ斜面を華麗に滑走して伊藤さんが登場。スキーの基本姿勢やターン時の動作、中上級者にはコブを滑る時のポイントなど、伊藤さんが実際にお手本を見せて、参加者一人ずつに丁寧にアドバイスしました。

伊藤さんは「市内の高校に通っていたので、このような形で少しでも近江八幡市に貢献できてよかったです。私も皆さんと一緒に楽しんでスキーできました」と話していました。

県広報コンクールで4年連続知事賞を受賞!
広報紙の部・広報写真の部でダブル受賞

令和3年度滋賀県広報コンクールで、本紙6月号が、広報紙の部・広報写真の部の2部門で最高賞の知事賞を受賞しました。知事賞受賞は、平成30年度から4年連続、広報紙の部では2年連続の受賞となります。審査では「冒頭からデザインもよく、その先も読んでみたい」「興味を引く企画内容と自然なレイアウトで読み応えがある」などと評価されました。今後も皆さんに親しまれ、読みやすい広報紙を目指します。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。